

2023 年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所
実務者のための NCP 研修会 募集要項

【目的】

名古屋学芸大学健康・栄養研究所主催「実務者のための栄養ケア（管理）プロセス研修会」は、管理栄養士のスキルアップと同職種間でのネットワーク構築を目的に、2015 年度より開催しています。

管理栄養士として対象者への栄養ケアにどのようなアプローチが必要なのか？短期集中的にグループディスカッション等をする中で、広い視野をもって患者さんの栄養管理計画を作り、どのようなアウトカムを期待して PDCA を回していくのかを深く検討しています。

今回の研修会では、ベーシクトレーニングと分野別ワークショップの 2 部形式で開催をします。これを機会に自分自身を高めてみませんか。

【実施要領】

対 象： 医療・福祉分野で栄養管理を行っている実務者（管理栄養士）

日 時： 2023 年 2 月 3 日（土）10：00～16：00

場 所： 名古屋外国語大学名駅キャンパス（サテライト）（JR「名古屋駅」より徒歩約 12 分、地下鉄東山線 亀島駅より徒歩約 6 分）、およびオンライン（Zoom）

参加費： 無料

参加者： 50 名程度

案 内： <https://www.nuas.ac.jp/IHN/>

申込先： Peatix (<https://2023ncp.peatix.com/>)

〆切り： 1 月 25 日（木）

内 容： 2 部制

総合司会：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 畠山 桂吾 先生

1 部 10：00～12：00 ベーシクトレーニング オンラインのみ

「すぐに役立つ“楽しい”静脈栄養ワークショップ ～管理栄養士として知っておくべきこと～」
浅ノ川総合病院 薬剤部 東 敬一朗 先生

2 部 14：00～16：00 分野別ワークショップ（下記 3 分野から 1 分野を選択）

① 急性期（#ICU #術後 #輸液 #がん #NST） ハイブリッド

「糖尿病を合併した膵がん患者の栄養管理 ～栄養ケアプロセスを用いて～」

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 伴野 広幸 先生

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 林 衛 先生

②慢性期（#栄養指導（DM・CKD 等）#リハビリテーション栄養 #給食管理） ハイブリッド

「患者さんのための栄養指導 ～指導者主導の指導にならないために～」

愛知医科大学病院 原 なおり 先生

名駅東クリニック 橋本由香梨 先生

③高齢者（#施設 #フレイル #嚥下障害 #認知症 #サルコペニア #重度要介護） 現地のみ

「高齢者における栄養ケアの倫理 ～あなたは食の虐待をしていないか～」

社会福祉法人英楽会 楓林花の里 小島 三枝 先生

ベーシックトレーニング概要

■すぐに役立つ“楽しい”静脈栄養ワークショップ～管理栄養士として知っておくべきこと～

管理栄養士が苦手意識を持ちがちな静脈栄養について、水・電解質を含めて学びます。輸液処方について食事に置き換えて考えるなど、管理栄養士の視点からも理解しやすいように考えていきます。またグループで症例検討を行い、自由に輸液処方を考えることで「難しく考える必要はない」ことに気が付くことができます。処方後モニタリングを行い、再プランニングを行うことで個々にあわせて輸液管理ができます。今回はオンライン上にてワークショップを行いながら、楽しく学びましょう。

注意) オンライン上のみでワークショップを行います。現地参加することも可能ですが、貸出用パソコンは無いためご持参ください(スマートフォンでは画面が見づらいため、パソコン等をお勧めいたします)。Wi-fiはありますが事前申請が必要なため、予めお申し込みの際に現地参加かどうかをお知らせください。

分野別ワークショップ概要

■急性期：「糖尿病を合併した膵がん患者の栄養管理～栄養ケアプロセスを用いて～」

膵がんの発症を契機に膵性糖尿病を発症される患者さんを経験される方もいらっしゃると思います。今回の症例は2型糖尿病が既往にある患者さんが膵がんと診断された症例です。膵性糖尿病の要素も絡んでくる複雑な病態の一つです。栄養ケアプロセスの手法に則り栄養アセスメントを実施し、栄養問題の原因とそれに対するプランを皆さんとグループワークを通じて考えたいと思います。

■慢性期：「患者さんのための栄養指導 ～指導者主導の指導にならないために～」

栄養指導に来る患者さんは、指導疾患だけでなく、生活背景や性格も様々です。どのようにアプローチしたらよいか難渋した経験がある人は多いのではないのでしょうか。今回は肥満症と高齢者の症例から「食べてはいけない」ではなく「これなら食べられる、こうやって食べよう」等と実践に結びつくような栄養指導・支援について考える時間にしたいと考えています。栄養指導で役立つ媒体についても意見交換をする時間を作りたいと考えていますので、各施設で使用している指導媒体をお持ちいただける方はお持ち下さい。

■高齢者：「高齢者における栄養ケアの倫理～あなたは食の虐待をしていないか～」

摂食嚥下困難者に「死んでもいいから口から食べたい。」そう言われたら、あなたはどうしますか？ご家族様が「頑張って」食べさせている姿を見たことはありませんか？終末期のガイドラインは存在しても、法律はありません。私たちは倫理的配慮に基づき、高齢者の栄養ケアを実践する必要があります。本ワークショップでは、医療倫理の4原則など基本的事項を押さえつつ、事例のディスカッションを通し、臨床倫理への理解を深めます。

オンデマンド配信等はございませんので、予めご了承ください。